

炎のチャレンジャー 大久保ゆきしげ

後援会の皆様へ

令和3年4月10日、第5代諫早市長に就任させていただきました。

皆様の日ごろからのご指導、ご支援に感謝です。

郷土・諫早の近未来像「来てよし、住んでよし、育ててよし！あなたのまち諫早！！」
実現のために力を尽くす所存です。

オール諫早で、市政推進へのお力添えをよろしくお願い申し上げます。



大久保潔重

長崎県
諫早市長

来てよし、住んでよし、育ててよし！あなたのまち・諫早！！

「三方よし」の考えで市の振興発展を目指す

さる令和3年11月に東京都新宿区四谷にある長崎県人クラブ事務局において、市政への取り組み、人生観や少年時代の思い出などについて取材を受けました。その様子を掲載されました「長崎倶楽部No.60」からの記事抜粋です。

（聞き手：県人クラブ常務理事牧山康敏
撮影：井口尚美さん）

◆ 決断や決裁の日々続く ワクチン接種は好結果

——令和3年4月諫早市長に就任されてから今日までのご感想は。
大久保市長 令和3年4月10日に就任しましたが、あつという間の月日でした。平成15年に長崎県議会議員に当選して以来、県議会と国会の議員生活が長かったので、今回が初めての首長。その意味では毎日、決断や決裁を迫られるという、これまでとは違うかなというのが感想です。

——この間に特に重点的に取り組まれたことは。

大久保市長 市長選前からの公約として、諫早市を「新型コロナウイルス感染症に強いまち」にするためにワクチン接種を積極的に進めるということで、市長就任後早くから取り組んできました。その結果、令和3年11月末には2回接種率が65歳以上で96・84%、12歳

活用法なども指導して諫早に住んでいただくようにしたい。若い人達には従来のジャガイモ、ニンジン、たまねぎ、ミカン栽培などに加えてゴーヤ、アボカド、ミニトマト、花(カーネーション、菊)などの栽培に取り組み人も増えています。

◆ ◆ ◆ 諫早はソニー等の産業集積地 水の確保や整備の対策も

——諫早は交通の要衝ということで諫早以外から諫早市のソニー工場に通勤する人も多いようですが。

大久保市長 諫早では企業誘致が順調であり、今まで5か所の産業団地が完売しています。そのなかでも半導体でいえば諫早中核工業団地のソニーを中心に諫早に産業が集積しているのが働く場所は沢山あります。さらに現在は「南諫早産業団地(20ha)」の造成に取り組んでおり、1工区(10ha)は完成して、新たに企業誘致していきたいと思っています。就労のために諫早に來られた人たちに如何にして諫早に住んでいただくかが問題で、その対策を進めているところです。

——工場誘致には水の確保も欠かせませんね。
大久保市長 それが私の大きな

悩みでもあります。半導体関連工場は水を多く使うので、諫早には豊富な水量があるとはいえず、ソニーなどの拡張に合わせて市の条例を改正して水の供給を増やすことを決めました。諫早のソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)は令和3年10月に諫早出身の山口宜洋さんがプロパーとして初めて社長に就任されましたので期待しています。

◆ ◆ ◆ 各種スポーツ施設も充実 5kmポートコース好評

——次に観光資源や特産品について伺います。

大久保市長 まず諫早にはスポーツ施設が充実しています。トランスコスモスタジアムが市内にあるほか市のサッカー場もV・ファールン長崎が練習で使用。野球場なども充実。インドア施設では内村記念アリーナなども活用されています。そして今注目しているのが水上スポ

ーツ関連です。本明川下流域に5kmの直線のポートコースがあります。県内唯一の1級河川で川幅も約200mあり8レーンぐらいとれるのでボート競技の全日本チームが3年連続で合宿して練習しています。以前、日本ボート協会の会長さんが來られた際に「日本一のボートコースだ」と言われたほどです。

◆ ◆ ◆ 牡蠣の「華漣」ブランド化 「ゆりかごあさり」も注目

——諫早湾干拓についての考えを。

大久保市長 諫早は干拓の歴史です。調整池は防災の役割を果たし700haの広大な干拓地は大規模優良農地です。小長井町では牡蠣(かき)やアサリのブランド品が育っています。牡蠣は「華漣」というブランドでも出ています。殻の色や形もきれいですよ。またアサリも砂が入っていない「ゆりかごあさり」というブランド品です。東京で

も四谷や日本橋長崎館という拠点があるので大いにPRしていきたいと思っています。

◆ ◆ ◆ 上町の共働きのせがれ 近くに市川さん、役所さん

——ここからは少しプライベートのお話を伺います。ご出身は上町(かんまち)とか。どんな土地柄ですか。

大久保市長 諫早の古い中央商店街近くの町です。古くから住んでおられる方と新しく來られた人とが半々ぐらいです。隣町に市川森一さん、同じ町には役所広司さんが住んでおられました。市川さんのお父さんと私の祖父が囲碁仲間、役所さんのお母さんと私の祖母が詩吟仲間でした。

——ご家族と、大久保さんの少年時代は。

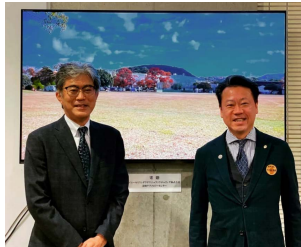
大久保市長 父は県庁マン、母は教員で、私は共働きのせがれです。少年時代の私は落ち着かない少年でした。今でも「そ

うだな」と自覚していますが。ただ小学校に入る前から剣道を習っていました。近くの天道館小島道場で9段範士の館長に教わる「少年剣士」でした。諫早高校2年で2段をとるまで10年間剣道をやっていました。諫早高校創立70周年の時、ちょうど高校2年で私が生徒会長、昭和57年でしたが、長崎大水害が起こり東長崎地区にその復旧作業に生徒会が出かけたことは思い出深いですね。

◆ ◆ ◆ 田中角栄像に触発され 政治の道へ関心強まる

——大久保少年の将来の夢は何でしたか。

大久保市長 両親は公務員でしたが、母方の祖父は政治のことが好きで、囲碁をしながらよく政治の話をしていました。ある時、独特の風貌と特徴ある話方をする人をテレビで見たとき祖父に「この人は誰ね」と聞いたところ、「田中角栄さんという





以上でも87・73%と高い接種率となつています。これも市民の皆さんの積極的な協力の結果です。

——全国レベルを大幅に上回る接種ペースですね。

大久保市長 ワクチン接種に早くから取り組み、長崎県健康事業団や医師会などの協力により、トランスコスモススタジオ・アマなどを利用して最大1日900人の接種を9月いっぱい毎日取り組んできました。高齢者の方、保健師や医療従事者に加え、教員や保育士、妊婦とそのパートナーなど重点的に諫早独自のやり方で行ってきたことが良い結果になったのではないかと思います。

◆◆ 県政や国政経験生かし 市長として地元貢献

——ところで今回、大久保さんが県議会議員を途中で辞めてまで市長選に出られた最大の狙いはなんですか。

大久保市長 平成15年に県議会議員に当選し、その後、参議院議員を務めさせていただいたの

で、その経験と人脈を活かして郷土諫早市のために尽くしたいとの気持ちがありました。その上、身近な地元の皆さんからの要請もあり市長選に出たわけです。

◆◆ 地の利や自然環境も魅力 多くの人材輩出する土壌

——それでは諫早市の魅力について伺いたい。

大久保市長 諫早市は長崎県のど真ん中に位置する、まさに県央です。古来より交通の要衝であり島原半島や西彼杵半島の結節点です。こうした地の利が魅力であり強みでもあります。国道も4本通っており、令和4年秋には西九州新幹線も開業の見通しです。また、海の玄関口

長崎港や空の玄関口長崎空港にはいずれも車で30分と近い。北に多良山系、東に有明海、西に

大村湾、南に橘湾というように風光明媚で自然環境に恵まれています。それに伴って第1次産業が盛んです。具体的に挙げる

と、まず食材が豊富であること。諫早名物のウナギ、牡蠣、すっぽん、野菜や果樹、お米、更にいま農家の方が新しい品目にもチャレンジしています。第2次産業も盛んで工業出荷額は今や県内トップクラスにあります。更にいえることは人、つまり人材でしょうね。諫早からは小説家の野呂邦暢さん、脚本家で劇作

家の市川森一さん、詩人の伊藤静雄さん、マラソンの藤原新さん、競歩の森岡紘一朗さん、体操の内村航平さん、内村さんは僕の諫早中学の後輩です。また俳優の役所広司さんをはじめ挙げれば切りがないくらい文化人やスポーツ選手など多くの人を輩出しており、そういう土壌も魅力です。

——諫早市のキャッチフレーズは。
大久保市長 これまで代々の市

長さんが培ってきたスローガンに加えて私が掲げているスロー

ガンは「来てよし、住んでよし、育ててよし！あなたのまち・諫早!!」つまり「三方よし」の考えです。従来からある市の総合計画と私のマニフェストをシンクロさせながら諫早市の振興発展を図っていきます。

◆◆ 産業強化で働く場所確保 子育て支援で住む場所も

——諫早市の人口は長崎市、佐世保市に次いで県下3番目に多いようですが、人口減少対策は諫早市のみならず全国的な課題ですね。

大久保市長 各産業を強化して若い人達の働く場所を確保することが一番大事です。これは順調にいつています。問題は住む場所の確保です。諫早で働いて若い人に住んでいただくこと

そのために従来の都市計画の見直し、調整区域等の規制撤廃は前提条件です。市民の所得を上

げ、定住人口を増やし、諫早市の税収を多様な方法で増やしながらか子育ての支援策を充実して人口増加につなげたいと考えています。政策課題として一番大事なことはまず人口を減らさないこと。地の利の良い諫早に来ていただき、そして住んでもらう。その中から人を育てる。育ててよしとは「人を育て、まちを育てる」という2つの意味が含まれます。また、まちを育てるということは「感染症と自然災害に強いまちづくり」を意味しており、歴史的にも大きな水害などを経験した諫早のまちを災害に強いまちにしたいと考えています。

◆◆ 各種の農業支援策も強化

——諫早市は第1次産業に恵まれているということですが、具体的な対策などを。

大久保市長 第1次産業を振興するためには農地の確保、そのための基盤整備が大事です。その担い手の育成、新しく農業をやろうとする人の支援もやろうと思つています。農事法人等にするメリットもあるのでノウハウなどを提供して経営体としての形を作ってもらおう。設備購入のアドバイス、資材の支援などのほか空き家も多いのでその



小長井杜嶋 華漣(2012年第1回「かき日本一決定戦」グランプリ受賞)

人で雪深い新潟から出てきた人だ」と教えてくれました。日本列島改造論を著し、総理大臣となった人だと。そういう話もきつかけとなって政治に興味を持つようになったといえます。

——ところが大学は長崎大学歯学部に進学していますね。不本意だったのでは。

大久保市長 高校の時に先生と両親が「結託(笑)して進路変更をすすめました。というのも、まず歯科医として地域医療に携わって地元で貢献してからも遅くはないという訳で急遽進路変更したので。

——それなのに平成6年の大

学卒業後は関東に出られますね。

大久保市長 私としては大学までずっと長崎だったので卒業したら上京して競争の激しい、情報も人口も多いところでウデを磨こうと考えていました。そこで東京の国立市に本部がある大きな歯科医療法人に就職しました。その間、神奈川県大磯の病院を任されて院長として勤務し、その後、福岡県で6年間地域医療に携わり、幼少のころからの思いだった政治の道に進むことを決意しました。バブル以降、日本の政治が停滞しており

政治改革が必要と考えて、平成14年に長崎に戻りました。そして故郷に役立ちたいとの強い思いに駆られて平成15年の県議会議員選挙に出て37歳の最年少、最少得票で初当選。そして平成19年には長崎県の大先輩である参議院議員の西岡武夫先生や岩手県の衆議院議員の小沢一郎先生に薦められて参議院議員選挙

長崎県選挙区で出馬して初当選し、1期務めました。次の平成25年の参議院議員選挙には敗れて、平成27年からまた長崎県議として再出発し、令和3年4月に諫早市長に当選して今日に至っています。

——これまで地方政治と国政を経験されていますがその違い

は。

大久保市長 国政の場合、日本は議院内閣制、政党政治なので政権与党が内閣を作ります。一方、地方自治は二元代表制で首長が予算案を作成、議会を通れば執行します。予算や人事権、政策立案などやりがいがあります。今諫早市では職員が約8600人いますが皆な優秀ですよ。

百術は一誠に如かず 自立と共生の精神で

——市長の人生観について。

大久保市長 私の座右の銘は「百術は一誠に如かず」です。また政治信条として私がいつも使うのは「自立と共生」です。個人も自立、社会も国家も自立して互いに支え合うということですが、お互い相反するようですが、双方が自立を目指し支え合うことが必要です。その上で私は「連携とチャレンジの市政」を掲げて、独善的にならないように国や地方や民間が連携していくことが必要だと考えています。僕のニックネームは「炎のチャレンジャー」ですが、市職員もチャレンジ精神が強いですよ。

——県人クラブへの要望などありましたら。
大久保市長 これから諫早市とも連携を密にして情報交換など

交流を深めていきたい。また私からは是非諫早にお越しいただきたい。そして東京から応援していただきたい。

——長時間、貴重なお話、有り難うございました。

インタビューを終えて

人とまちを育てる施策に注目

「少年の頃は落ち着きがなかった」と振り返る大久保市長だが、今や沈着冷静に首長としての決意を熱く語る。就任早々から新型コロナウイルス感染症対応に直面する

も「当選前から考えていた」という諫早独自の対策で、市民のワクチン接種も効果を上げる。また諫早市の地の利など強みを生かして第1次産業の振興に加え、第2次産業への対応も具体化を急ぐ。「人を育て、諫早を育てる」施策の今後が注目される。同席した県人クラブの藤島満年常務理事も「地方政治の特徴でもある、いわば大統領制を活かして県央・諫早の発展のため活躍いただきたい」と激励しインタビューを終えた。

炎のチャレンジャー
諫早市長 **大久保ゆきしげ**

Instagram Facebook SNS発信中！

Twitter

Youtube

諫早市公式
LINE

後援会入会
希望の方